



新宿区立新宿養護学校  
ひまわり  
令和6年10月号



↑カラー版はこちらから

あたゝかき 十一月も すみにけり (中村 草田男)

この俳句は、11月の晴日を詠っています。昨日、岩手県花泉の友人は、柿の暖簾を作ったと写真を送ってきました。食べ頃になるときは、寒いのでしょうか。

さて、前回の学校だよりは「災害時を想定することの大切さ」と題して「個別避難計画」について触れました。その後、このような声が私(校長)に届きました。

「新宿区は、避難を前提とした個別避難計画でなく、被災後の支援を主とする個別支援計画です。その個別支援計画ですが、人工呼吸器を使用している方(お子さん)しか作成されていないです。うちの子は、どうやって避難所まで行けばいいのでしょうか。」

改めて「個別避難計画」と「個別支援計画」の違いとはどのようなことなのでしょうか。

まず、「個別避難計画」は、避難支援等を実施するための計画とされています。この避難計画作成の背景には、皆さんご存知の通り、平成23年3月11日に起きた東日本大震災があります。この時、多くの高齢者、障害者等の命が失われました。つまり「個別避難計画」は、津波や風水害等の災害が起こり命の危険がある場合に、一刻も早く安全な場所へ避難するための計画と考えられます。

次に、「個別支援計画」についてです。新宿区では、津波や風水害による早急な避難より、被災後の支援を第一に捉え、「個別支援計画」を作成しているそうです。特に、自宅が倒壊、損壊した場合は別ですが、自宅での避難が可能な状態で、支援サービスを受けやすくしたり、あるいは継続したりすることを考えていこうというものです。現在、新宿区の計画作成の対象者は、被災後に最も支援が必要と考えられる人工呼吸器を使用している方々で、優先的に作成されています。

高齢者や障害者等の実態を踏まえた上で作成される「個別避難計画」や「個別支援計画」は、都道府県や基礎自治体によって違いがありますが、前提として以下のことは捉えておく必要があります。

平成25年5月の災害対策基本法の一部改正により、避難行動要支援者名簿に関する規定が新設されました。要配慮者のうち、災害発生時に自ら避難することが困難であって、避難のために特に支援が必要な避難行動要支援者について、避難支援等を実施する基礎とするための名簿を作成することが、市町村の義務とされました。しかしながら、避難行動要支援者名簿の作成が災害対策基本法に位置付けられて以降も、平成30年7月豪雨、令和元年台風第19号、令和2年7月豪雨など相次ぐ災害において、高齢者や障害者が被害を受けていることを踏まえ、災害時の避難支援等を実効性のあるものとするため、令和3年5月の災害対策基本法の一部改正により、「個別避難計画」の作成が市町村の努力義務とされました。この「個別避難計画」を作成する対象となる避難行動要支援者の名簿は、消防機関、自主防災組織、民生委員等の関係者にあらかじめ名簿情報を提供することとされており、避難行動要支援者ご本人の同意を得る必要があります。しかし、名簿作成については、個人情報保護の観点から、避難行動要支援者ご本人の同意を得ることはなかなか難しい場合も多いそうです。

「うちの子は、どうやって避難所まで行けばいいのでしょうか」という言葉が頭の中から離れません。改めて、災害時のことを平常時から考えておくことの大切さを感じます。本校の一泊二日の宿泊行事で、保護者の我が子のために用意する荷物の量は相当なものです。避難所へ移動する困難さを思うと簡単なことでないということが想像できます。

災害時に対して、どのようなことを用意すべきか、東日本大震災を教訓として、居住している地域ごとに、平常時から話題にしていくことが益々大切なこととなっていきます。新宿区の「要配慮者災害用セルフプラン」を区のHPで見つけましたので、災害への準備として、参考までにご覧ください。

季節の変わり目となります。11月末には運動会があります。お子様の体調管理にとっても慎重になる季節となりました。どうぞ皆様、ご自愛ください。



### 「小学部1年 半日校外学習」

9月20日（金）、小学部1年生は、半日校外学習で東京おもちゃ美術館に行ってきました。学校からスクールバスで四谷にある施設に向かい、様々なおもちゃで遊びながら、教員とのやりとりを楽しんだり、友達同士の仲を深めたりしました。

施設内は木で作られたおもちゃが多く、実際に触れる体験をしました。また、食べ物を模したおもちゃでごっこあそびをしたり、音の鳴るからくりおもちゃで遊んだり、皆でとても楽しい時間を過ごすことができました。



### 「小学部3年 一日校外学習」

9月20日（金）、3年生は一日校外学習でサンシャイン水族館に行きました。サンシャイン水族館に向かうバスの中では、その日の流れを確認したり、水族館の歌を聞いたりして期待でいっぱいの子どもたちでした。水族館では、様々な魚やアザラシ、ペンギンやカエルなどの生き物を見学しました。大きな水槽の中の生き物を見つけ、指をさして「あっ！」と喜んだり、クラゲの水槽に手を伸ばして触ったりして、楽しく見学することができました。買い物の時間では、あらかじめ決めていた柄の靴下を見つけ、無事に購入することができました。朝から楽しみにしていた昼食では、美味しいお弁当を食べ興奮気味の3年生。お弁当箱を見ると笑顔になったり、食べて「うまっ！」を連発したり、とても良い表情をしていました。その後は余韻に浸りながら学校に戻りました。普段と違う環境でしたが、仲良く安全に学習することができました。



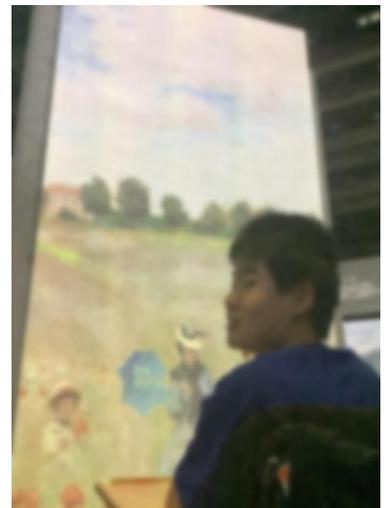
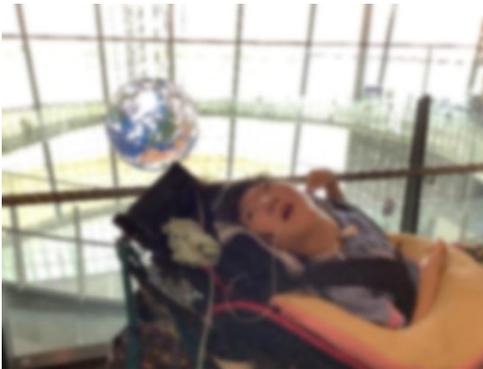
## 「中学部3年 修学旅行」

9月26日（木）から、中学部3年生の4名は一泊二日の修学旅行に行ってきました。

1日目、青空にそびえ立つ東京タワーを間近に見ながら、増上寺で受験に向けて必勝お守りを購入しました。生徒から「受験に勝つ！」と気合の言葉が聞かれました。次の見学先である日本科学未来館では、大きな地球儀の展示「ジオコスモス」に目を輝かせたり、ロボットと会話したりして、科学の世界に親しみました。宿泊先の東京イーストサイドホテル権会は、広々としたきれいな部屋でリラックスして過ごすことができました。

2日目は日本橋で活動しました。絵画展「モネ&フレンズ」ではモネの世界観を深く味わい、三越本店では「美味しい！」と顔に書いてあるような笑顔で食事を楽しみました。

充実した時間を共に過ごした仲間と、より一層絆を深め、最高の思い出を作ることができた2日間でした。



## 「西新宿中交流」

10月3日（木）に西新宿中学校へ伺い、E組の皆さんと交流を行いました。

本校のスクールバスが到着すると、E組の皆さんが温かく迎え入れてくれました。その後は、体育館まで車いすを押してくれる場面もありました。

まずはじめに、一人一人バスケットのシュート披露をしてくださいました。シュートが決まると拍手や声援で盛り上がりました。その後のメインの活動では、合同チームでボッチャ対決を行いました。自己紹介では、お互い緊張している様子の生徒たちでしたが、ゲームを通し、徐々に打ち解けていく姿が印象的でした。ゲーム中には、ランプの角度を調節してくれたり、狙う場所をアドバイスしあったり、積極的に交流を深める様子を見ることができました。お互いの学校の生徒たちにとって、とても貴重で価値のある時間となりました。

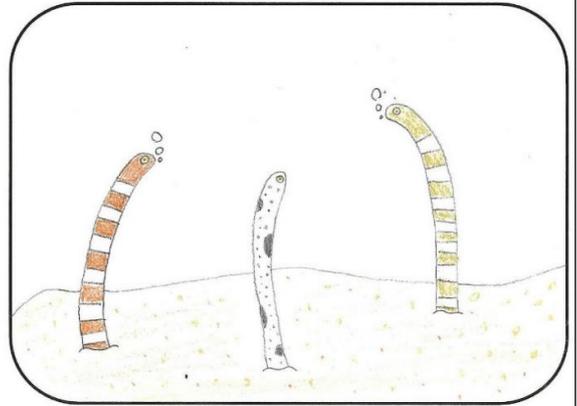


## 「訪問 校外学習」

10月7日（月）にオンライン校外学習を実施しました。今回は葛西臨海水族園のプログラムに参加しました。前半小学部、後半中学部の2部構成で、それぞれ「いろいろな魚の形とくらし」「水族園で魚類観察」をテーマに話を聞きました。小学部では、シルエットを見て魚かそれ以外かを答えるクイズがあり、皆楽しく参加していました。活動中に水族園の方の問い掛けに積極的に答える場面もありました。その後魚の形について3種類紹介され、それぞれどのような場所に生息しているのかを考えながら解説を聞いていました。中学部では、マグロのヒレの秘密について説明を聞いたり、なぜ今の魚の形になったのかについて考えたりしました。また、ただ魚を眺めるだけでなく、「視点」を入れることで科学的な観察になるということも学ぶことができ、非常に有意義な時間になりました。現在、事後学習として、「魚の形とくらし図鑑」の作成に取り組んでいます。

「フィンアセゴ」

小4女子



ほまながい形とて、色の中をくわして、とてもおもしろい。

てかちがづくともの中、おをかくします。名前の由は顔か。

犬のフィンという、いろいろな色の中、アセゴになりました。

## 「中学部1，2年生 移動教室」

10月10日（木）から一泊二日で移動教室に行ってきました。まずは、TEPIA 先端技術館へ行き、タブレット端末でロボットに指示を出すプログラミングの体験などをしました。無我夢中で没頭する様子が印象的でした。次に、東急歌舞伎町タワー内のレストラン「JAM17」で、昼食をいただきました。広々とした個室で、17階からの景色を堪能しながら、ゆったりとした時間を過ごすことができました。その後、戸山サンライズで、入浴・夕食の後、体育館でレクリエーションを行いました。イラスト探しゲームを行い、楽しいひと時を過ごすことができました。

2日目は、「市谷の杜 本と活字館」へ行き、1日目とは違う、昔ながらの印刷技術に触れることができました。また、ポチ袋に「ありがとう」や「ほんのきもち」という文字を、テキンという道具を使って印刷をする体験もさせていただきました。帰校後は、2日間に渡る移動教室を終え、ほっとした清々しい表情が見られました。

